

平塚市文化振興基金活用事業 小学校アウトリーチ 今年も『学校に音楽家がやってきた』!



こんな風にヴァイオリンを聞いたことがありますか?

今年度も平塚市内の小学校に音楽家たちがやってきました。演奏家が学校へ出向き少人数の生徒と近い距離で演奏する、アウトリーチ公演です。

平塚市では、文化振興のために寄附された「平塚市文化振興基金」を活用した事業の一つとして、平成23年度からアウトリーチを始めました。昨年度のアウトリーチは大好評。今年度は受入校を2校から6校に増やし、より多くの子どもたちが間近で本物の音楽に触れられる幸運に恵まれました。

今回は、ヴァイオリニストの早稲田桜子さんとお姉様でピアニストの早稲田眞理さんに松延小、神田小、金目小の3校、大嶋有加里さんと木内佳苗さんのお二人によるピアノデュオ、

デュエットウさんに勝原小、土屋小、豊田小の3校をお願いしました。デュエットウさんは、1台のピアノを2人で弾くピアノデュオ（連弾）という演奏形態です。2人の心がぴったりと寄り添った力強く美しい演奏で、テレビ、ラジオ、各地の演奏会でご活躍されています。

最初はそわそわしていた子供たちもいったん演奏が始まると、目を輝かせて体中で音楽に親しんでいました。ヴァイオリンもピアノも、「習いたい!」「やってみたい!」という声があちこちから聞こえ、受入校の先生方も、間近で聴くプロの音の力強さに大興奮。どの学校の音楽室も、そこにある皆が一体となって音楽のとりこになりました。それぞれの学校での演奏は短いのですが、触ることができた子ども達の未来がより豊かなものになることを願います。



3人目のメンバーも飛び入りして1曲完成!



酒井由紀さんと息子の龍一くん

酒井由紀さんはフルタイムの仕事と家庭を両立させながら、中国語のボランティア活動を続けています。毎週火曜日の夜7時から1時間、FM湘南ナパサ（78.3MHz）ではインタナショナル・ナパサという番組で子育て情報や市のイベントなど、平塚市で生活する上で役に立つ情報を、6か国語で放送しています。この放送で中国語を担当しているのが酒井さんです。

必要な情報を、必要としている人にいかに届けるかが、酒井さんのような活動をする方たちの共通の課題です。ラジオの生放送ですから、聴かずには過ぎてしまったら役に立たないということではもったいないので、現在、放送した内容は平塚市のホームページ上に更新されています。こういった情報の翻訳も、酒井さんをはじめとする各国言語のボランティアの方たちに支えられているのです。

酒井さんは16歳の時に日本での生活を始めました。中国から

外国にルーツを持つ多くの市民の方が平塚市で活躍しています。
今回は、中国語でのボランティア活動を続けている酒井由紀さんを御紹介します。

「ありがとう」のリレー

インターナショナル・ナパサ
中国語キャスター
酒井由紀さん

やってきた当時の酒井さんは日本語が全くできず、学校にも通い始めましたが最初は何もわかりませんでした。そんな時に、中国語の出来る日本人の方が1年以上つきっきりで酒井さんをサポートしてくれました。心細かった当時、その方の手助けが本当に胸に響いたそうです。

忙しくて、自分で十分と思えるほどには活動できていません、と酒井さん。でも、一人でも多くの人に情報を届けるためにも、たとえ細々とでも続けることの意味は大きいと酒井さんは信じています。「自分は言葉がわからないことがどんなにつらいかも、その時に助けてくれる人がいるありがたさも身に浸みてわかる。私がそうしてもらったように、困っている人の役に立ちたい。」そんな酒井さんの感謝の想いは、今酒井さんに助けられている次世代の方たちがきっと引き継いでくれることでしょう。

★インターナショナル・ナパサ「多言語ラジオニュース」

毎週火曜日午後7時から8時 FM湘南ナパサ 78.3MHz

★平塚市ホームページ

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kouryu/napasa-foreign-languages.htm>